

●都市ガス警報器をお取付けいただきありがとうございます。  
 ●この取扱説明書は都市ガス警報器の取付方法を説明します。  
 ●お使いになる前に、この取扱説明書必ず読んで、内容をご理解した上で取扱ってください。  
 ●本取扱説明書は、末頁に保証書がついています。取扱説明書をお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。  
 ●本書を紛失されたり、内容に不明な点があった場合は、ガス事業者または最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社にお問い合わせください。  
 ●本警報器は、都市ガスを感知して警報を発するものです。ガスもれの発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれによる損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。  
 ●本警報器は、都市ガスを感知して、ガスもれを検知するものです。ガス検知部に都市ガスが到達しない場合は、ガス警報機能が働きません。

【日常点検のお願い】  
 警報器が故障したり有効期限が過ぎたときはランプが点滅してお知らせします。燃焼器をお使いになる前にランプを点検してください。ランプが点滅してましたら(4、5ページ参照)、最寄りのガス事業者にご連絡ください。

**矢崎エナジーシステム株式会社**

お客様ご相談窓口

ガス機器事業部	053(925)4511
[北海道] 札幌	011(852)2914
[東北] 仙台	022(284)9114
[関東] 東京	03(5782)2702
	埼玉 048(654)2071
[中部] 名古屋	052(769)1532
	静岡 054(283)1151
[関西] 大阪	06(6458)8185
[中国] 広島	082(568)7802
[四国] 高松	087(833)3335
[九州] 福岡	092(411)4834

※機器に異常がある場合は、ご自分で修理なさらずにガス事業者、または最寄りのお客様ご相談窓口にご相談ください。  
 なお、当社ホームページにおいてもご案内申し上げます。  
 URL: <https://www.yazaki-group.com>  
 ※電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

**ご使用になる前に**

警報器を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書にはいろいろな絵表示をしており、その表示と意味は次の通りです。本文をお読みになる前にご確認ください。

<b>危険</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生ずる場合が想定されることを表しています。
<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
	一般的な禁止
	火気厳禁
	触れるな
	分解禁止
	必ず行う

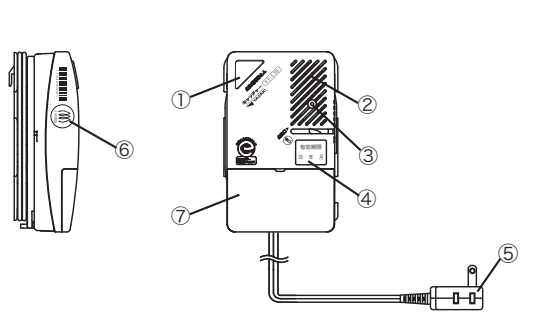
**危険** 火や火花により、もれたガスに引火して爆発する危険があります。

- ガス警報音が鳴っている時は火気は絶対に使用しないでください。
- ガス警報音が鳴り終わらないうちに電源プラグを引き抜かないでください。
- ガス警報音が鳴っている時に換気をする場合は、電灯のスイッチをON/OFFしたり、換気扇・扇風機などの使用は危険ですから絶対にしないでください。

**ガス警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について**

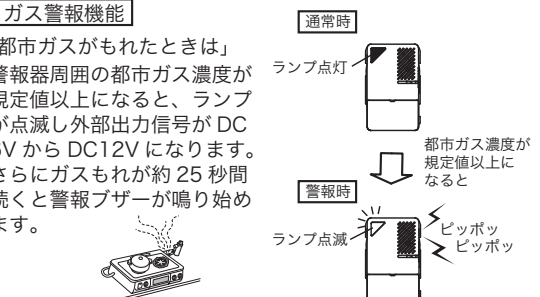
- 以下の原因が考えられますので、調べてください。
- 長い間閉め切られたお部屋や、高気密住宅などの換気回数数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分(シリコーンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス(エアコンの冷媒ガスなど)の作用によりガス警報しやすくなる場合があります。また、まれにガス警報し続けることがあります。
  - 建材などから発生する揮発性成分の作用によりガス警報しやすくなる場合があります。また、まれにガス警報し続けることがあります。

**1. 各部の名称とはたらき**

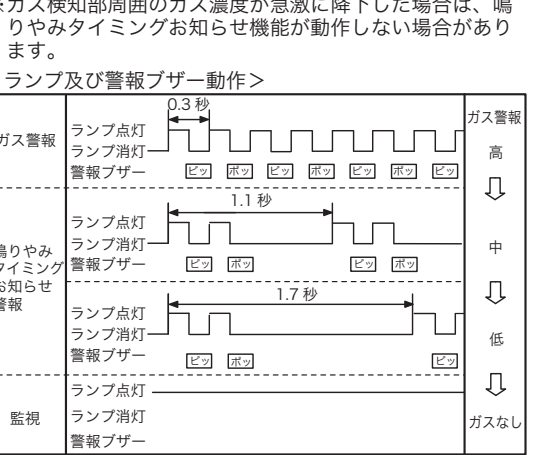


- ランプ及び点検/警報停止スイッチ:  
 ・電源を入れてから約40秒間ランプが点滅します。(警報器の安定時間)  
 ・通常はランプが赤色点灯しています。  
 ・ガスを検知すると赤色点滅します。  
 ・監視時に5秒間押し続けると、警報ブザーとランプ(点滅)の作動確認、併せて外部出力信号を出力します。  
 ・ガス警報時に押しすと、警報ブザーが約5分間停止します。
- 警報ブザー:  
 ・ガスを検知すると鳴動します。(高齢者にも聞き取りやすい低音を含む)
- ガス検知部(点検口):  
 ・ガスを検知します。  
 ・点検ガスをかけてチェックします。
- 有効期限シール:  
 ・警報器の有効期限が表示されています。
- 電源プラグ:  
 ・最大1490Wまでの他の電気器具と共用できる予備コンセント付きです。
- 形式認証証票:  
 ・日本ガス機器検査協会の検査に合格したことを示します。
- 端子カバー:  
 ・外部出力信号用端子が収納されています。

**2. 警報器の機能について**

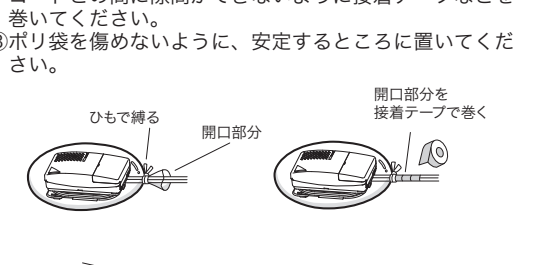


**鳴りやみタイミングお知らせ機能**  
 作動点検後にガス検知部周囲のガス濃度が低くなると、下図のようにランプの点滅及び警報ブザーの鳴動間隔を変化させ、警報が鳴りやむタイミングをお知らせします。  
 ※ガス検知部周囲のガス濃度が急激に低下した場合は、鳴りやみタイミングお知らせ機能が動作しない場合があります。



**5. 噴霧式殺虫剤を使用される時のお願い**

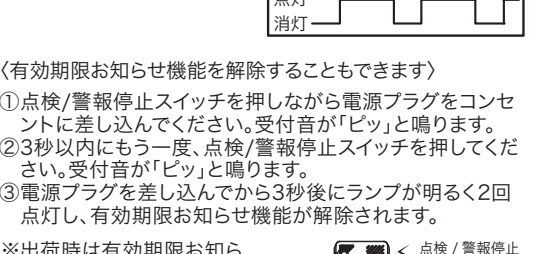
- 警報器が噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報発する場合があります。次の処置を行っていただく、警報器の作動を防ぐのに効果があります。
- (1) コードを巻取部から引き出して伸ばし、安定した所に置く場合には、下記の手順で処置してください。
- 用意していただくもの  
 ・ポリ袋  
 ・溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。  
 ・アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。  
 ・フローリングのワックス、溶剤を含み接着剤を使用していませんか。  
 ・長時間、部屋を閉め切っていませんか。  
 ・焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。  
 ・みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。  
 ・可燃性のガスなどを使用していませんか。  
 ●警報器の通常電圧範囲は AC90～110V です。それ以外で使用していませんか。  
 ●換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。  
 ●ガスコンロの着火ミスがありませんか。  
 ●自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。  
 ●炭火や練炭を使用していませんか。  
 ●換気扇を回さずに大鍋(業務用など)で湯を沸かしていませんか。点火初期時に一酸化炭素が発生し、警報を発することがあります。



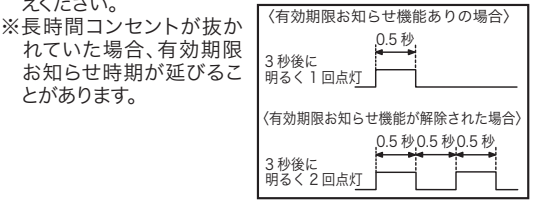
- 警報器が外部機器(インターホンなどの集中監視機器)と接続されている場合は、警報器の電源プラグを抜いたりすると、外部機器で警報(故障表示)する場合があります。
- 経年変化によりガス検知部が敏感になっている場合。

**有効期限お知らせ機能**

「警報器の有効期限が過ぎたときは」  
 警報器の有効期限が過ぎるとランプが右図のようにゆっくり点滅します。  
 警報器が正常に作動しない恐れがありますので、お求めのガス事業者に連絡し、警報器を交換してください。



＜有効期限お知らせ機能を解除することもできます＞  
 ①点検/警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。受付音が「ピッ」と鳴ります。  
 ②3秒以内にもう一度、点検/警報停止スイッチを押してください。受付音が「ピッ」と鳴ります。  
 ③電源プラグを差し込んでから3秒後にランプが明るく2回点灯し、有効期限お知らせ機能が解除されます。



**故障しているときは**

故障が発生すると「ピッピッピッ」が1回鳴り、ランプが速い点滅となります。その後は、「ピッピッピッ」と約1分毎に繰り返して鳴ります。  
 スイッチを押すことにより故障音は約36時間停止します。  
 ランプの速い点滅は止まりません。  
 ※ガス事業者までご連絡ください。  
 ※外部機器と連動している場合、故障音停止中は外部機器の連動動作は停止します。

＜注意＞  
 ・電源を入れてから約40秒間は、ガスがかかっても作動しません。  
 ・電源を入れてから約40秒後に「ピッピッピッ」と鳴り、ランプが速い点滅をした場合は、警報器が故障しているためお求めのガス事業者までご連絡ください。  
 ・システム異常(外部出力信号が約OVとなっている)の場合は、ガス事業者までご連絡ください。外部出力信号は、警報器に電源が入っていない場合、警報器が故障している場合、または信号線が断線している場合OVになります。

●壁掛型警報器は、強く引っ張ると取付けている取付板、木ネジが抜けたり、警報器が外れたりして落下する恐れがあります。

- 点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。転倒してけがをする恐れがあります。
- この点検を行った場合、外部出力信号を出力しますので、外部機器と連動している場合はご注意ください。

**3. 使用方法**

①点検/警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。受付音が「ピッ」と鳴ります。  
 ②3秒以内にもう一度、点検/警報停止スイッチを押してください。受付音が「ピッ」と鳴ります。  
 ③電源プラグを差し込んでから3秒後にランプが明るく2回点灯し、有効期限お知らせ機能が解除されます。

※出荷時は有効期限お知らせ機能の設定は「あり」となっています。  
 ※有効期限お知らせ機能の切替は何度でも可能です。お客様自身でも有効期限お知らせ機能を解除された場合は、お求めのガス事業者の有効期限お知らせ機能を解除した旨をお伝えください。  
 ※長時間コンセントが抜かれていた場合、有効期限お知らせ時間が延びることがあります。

＜注意＞  
 ・電源を入れてから約40秒間は、ガスがかかっても作動しません。  
 ・電源を入れてから約40秒後に「ピッピッピッ」と鳴り、ランプが速い点滅をした場合は、警報器が故障しているためお求めのガス事業者までご連絡ください。  
 ・システム異常(外部出力信号が約OVとなっている)の場合は、ガス事業者までご連絡ください。外部出力信号は、警報器に電源が入っていない場合、警報器が故障している場合、または信号線が断線している場合OVになります。

●警報器が外部機器(インターホンなどの集中監視機器)と接続されている場合は、警報器の電源プラグを抜いたりすると、外部機器で警報(故障表示)する場合があります。

**警告**

- 電源プラグは抜かないでください。
- 電源を抜いて、警報器をポリ袋で覆わずに、噴霧式殺虫剤を使用する部屋に置くこと、噴霧が終わってから電源を入れた時に、警報器内部のフィルタに吸着した噴射ガスが脱離することにより、警報することがあります。
- 警報器が外部機器(インターホンなどの集中監視機器)と接続されている場合は、警報器の電源プラグを抜いたりすると、外部機器で警報(故障表示)する場合があります。

●警報器の壁面からの取外し、取付け、あるいは警報器へのポリ袋の取付け、取外しは高いところでの作業になりますので、しっかりと止めてください。  
 ●ポリ袋がしわになっている部分や電源コードが通っている部分に特に注意し、ポリ袋と壁面の間に隙間ができないようにしてください。  
 ●接着テープは壁面の状況に応じて、接着しやすく、また剥がすときに壁面などを傷めないようにしてください。

●警報器の壁面からの取外し、取付け、あるいは警報器へのポリ袋の取付け、取外しは高いところでの作業になりますので、しっかりと止めてください。  
 ●ポリ袋がしわになっている部分や電源コードが通っている部分に特に注意し、ポリ袋と壁面の間に隙間ができないようにしてください。

- 壁掛型警報器は、強く引っ張ると取付けている取付板、木ネジが抜けたり、警報器が外れたりして落下する恐れがあります。

**4. 警報ブザーが“鳴った”ときの処置**

1. ドアや窓を開けて換気する。
2. ガス栓や器具栓を閉める。
3. ガスがなくなれば、ガス警報音が鳴りやむ。
4. ガスもれの原因を調べる。

●部屋の外からガス警報音に気づいたときは  
 1. 部屋に入らない。  
 2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。  
 3. ガスがなくなれば、ガス警報音が鳴りやむ。  
 4. 部屋に入り、警報器のランプが点滅から点灯に変わっていることを確認する。  
 5. ガス栓や器具栓を閉める。  
 6. ガスもれの原因を調べる。

●置置をしてもガス警報音が鳴りやまないときは  
 ガス事業者へ連絡する。HELP!!!

※警報器と各種外部機器を接続している場合、警報器のランプが点滅し外部出力電圧(12V)が出力されると、外部機器が異常の表示を行います。外部機器には、異常の表示から警報音が鳴るまでに数十秒間の遅延が設けられている場合があります。  
 ※警報器と戸外ブザーを接続している場合、警報器のランプが点滅し外部出力電圧(12V)が出力されると、30～60秒間後に戸外ブザーが鳴ります。ガスがなくなると同時に警報器及び戸外ブザーが鳴りやみます。

**6. 定期点検**

- (1) 日常点検  
 日常、ランプが点灯していることを確認してください。
- (2) 作動点検  
 スイッチを5秒間押し続けると、約5秒間警報ブザーが「ピッポッ ピッポッ」と鳴動します。同時にランプが点滅し、外部出力信号がDC6VからDC12Vになります。約1分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態に戻ります。

※1分以内に点検を終了したい場合は、スイッチを押すと「ピー」と鳴り、即時に終了します。

●点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。転倒してけがをする恐れがあります。

- この点検を行った場合、外部出力信号を出力しますので、外部機器と連動している場合はご注意ください。

**保証書**

製品名 **都市ガス警報器 キャッチャー**  
 このたびは、都市ガス警報器 **キャッチャー** をお取付いただきました、まことにありがとうございます。この保証書は、本製品の保証期間において取扱説明書に基づいた正常な使用状態で異常、故障が発生した場合、本書記載内容にて無償点検、あるいは無償取替えを行うこととお約束するものです。

形式	YF-550 (空気より軽い12A・13Aガス用)
製造番号	
お取付年月日	年 月 日
保証期間	お取付年月日より <b>5年間</b>
お客様住所	〒
お名前	
電話番号	( )
住所・店名	
電話	( )

**矢崎エナジーシステム株式会社**  
 〒108-0075 東京都港区南港一丁目8番15号ビル7F  
 〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南農農23番地 TEL053-925-4111  
 〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南農農23番地 TEL053-925-4511

**7. 使用上のご注意**

- 落下させたり、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 警報器電源プラグを抜かないでください。ガスもれが発生しても警報しません。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。
- 電源コードにはステップルや釘などを打たないでください。火災の原因になります。
- 分解や改造はしないでください。故障の原因となります。
- ぬれた手で警報器の取付け、取外し作業は行わないでください。感電する恐れがあります。
- 常に通電されていること(ランプ点灯)を確認してください。通電されていない場合は、ガスもれが発生してもガス警報を発生しません。
- 噴霧式殺虫剤を使用するときは以下の内容を確認してください。誤作動の原因となります。(P9～12参照)
- 警報器をポリ袋などで覆う。
- 噴霧が終わったら、換気した後、必ずポリ袋を取除く。

●警報器の電源プラグを抜かないでください。

●警報器が外部機器(インターホンなどの集中監視機器)と接続されている場合は、警報器の電源プラグを抜いたりすると、外部機器で警報(故障表示)する場合があります。

- 点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。転倒してけがをする恐れがあります。
- この点検を行った場合、外部出力信号を出力しますので、外部機器と連動している場合はご注意ください。

### 保証規定

- 表記の保証期間内に正常なご使用状態において、異常が認められた場合には、お申し出により無償点検あるいは、無償取替えをいたします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償点検あるいは、有償取替えとなります。
  - ①本製品に異常が認められない場合。
  - ②取扱説明書に基づかずに使用し、故障または損傷した場合。
  - ③火災・天災・異常電圧・異常温度などの不可抗力による破壊または損傷。
  - ④取付位置が浴室・屋外・高温多湿など著しく不適当な場所で使用した場合の故障または損傷。
  - ⑤お取付け後、分解や改造などをされた場合の故障または損傷。
  - ⑥お取付け後の取付場所の移動、落下などによる故障または損傷。
  - ⑦水や煮こぼれなどの液体、または動植物による故障または損傷。
  - ⑧本保証書のご提示がない場合。
- 本書は日本国内のみにおいて有効です。
- なお、この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

お取替え予定日 年 月 日

### 注意

- 取付位置を移動させないでください。ガス警報の遅れの原因となります。取付位置を変える必要が生じたときは、ガス事業者にご相談ください。
- 警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。ガス警報の遅れの原因となります。
- 警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。ラジオなどにノイズ(雑音)が入ることがあります。警報器から距離を離してお使いください。

### 注意

- お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。警報器の表面に傷がつけたり、警報器が鳴りやまなくなることがあります。
- 警報器の水につけたり、水をかけたりしないでください。ショートや感電の恐れがあります。
- 警報器の取外し、取付けを行うときや警報器をポリ袋で覆うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。
- 設置後、5年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取替えください。正常に作動しない恐れがあります。有効期限シールに示されています。
- 屋外用ではありませんので、屋外では使用できません。
- 停電時は作動しません。または、はじめお使いの場合や、停電後は電源を通じてから約40秒間は作動しません。なお約40秒後ランプが点滅する場合がありますが、しばらくするとランプ点灯に変わります。
- 警報器は多少温かくなりますが、異常ではありません。(通電によりセンサ部を加熱して使用するため)

### 8. 予備コンセントの使用方法

#### 注意

- 警報器以外の電気製品を同時にご使用になる場合は、警報器のプラグは抜かず、警報器のプラグに付属している予備コンセント(アドオンプラグ)をご利用ください。ただし、接続できる電気製品は1490W以下です。1490Wを超える火災発生時の恐れがあります。

●必ず守る	●確認める	●禁止
●電圧プラグがコンセントに差し込まれていませんか。	●電源ブレーカーが切れていませんか。	●停電していませんか。
●電圧プラグをコンセントに差し込んでください。	●ブレーカーを入れてください。	●停電でなければ、警報器の故障が考えられますので、ガス事業者に連絡してください。
●警報器が温かくなっている。	●-	●通電により、センサ部を加熱しています。異常ではありません。
●ランプが消灯している。	●-	●ガス事業者に連絡してください。
●警報器が温かくなっている。	●-	●ガス事業者に連絡してください。
●警報器が速い点滅となっている。	●警報器の故障を知らせています。	●ガス事業者に連絡してください。
●警報器が遅い点滅となっている。	●警報器の有効期限切れを知らせています。	●ガス事業者に連絡してください。
●ガスもれではないのに、ランプが点滅したり、警報ブザーが鳴る。	●原因を調べてください。(P7～P8参照)	●ドアや窓を開け、しばらく換気を行ってください。ランプや警報ブザーが止まります。鳴り止まない場合はガス事業者へ連絡してください。
●-	●-	●ガス事業者に連絡し、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
●-	●-	●それらの機器も点検を受けてください。

### 9. 異常と思った場合の処置

●こんなときは	●ここを確認して	●こう処理してください
●警報器が温かくなっている。	●-	●通電により、センサ部を加熱しています。異常ではありません。
●ランプが消灯している。	●-	●ガス事業者に連絡してください。
●警報器が温かくなっている。	●-	●ガス事業者に連絡してください。
●警報器が速い点滅となっている。	●警報器の故障を知らせています。	●ガス事業者に連絡してください。
●警報器が遅い点滅となっている。	●警報器の有効期限切れを知らせています。	●ガス事業者に連絡してください。
●ガスもれではないのに、ランプが点滅したり、警報ブザーが鳴る。	●原因を調べてください。(P7～P8参照)	●ドアや窓を開け、しばらく換気を行ってください。ランプや警報ブザーが止まります。鳴り止まない場合はガス事業者へ連絡してください。
●-	●-	●ガス事業者に連絡し、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
●-	●-	●それらの機器も点検を受けてください。

### 10. アフターサービスについて

- この警報器の保証期間は取付日から5年間とし、保証期間中に故障が起きた場合には無償で正常作動品と交換いたします。ただし、保証書記載の保証の適用除外の項目に該当する場合はこの限りではありません。保証書を参照ください。
- 保証書にお取付年月日及び販売店名の記入のないものは無効となる場合があります。お取付け時にご確認ください。
- 保証書は大切に保管してください。
- この警報器の有効期限は、お取付けの5年後です。有効期限とは警報器の所定の性能を維持できる期間であり、5年を経過したものは、規定の警報濃度でガス警報しないなど誤作動の恐れがありますので、新しい警報器とお取替えください。有効期限を超過した警報器は、ガス事業者が引き取って適切に処理いたします。ガス事業者にお渡しください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。
- 転居する場合は、お買い求めのガス事業者に連絡し、警報器の扱いについてご確認ください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、ガス事業者または最寄りの矢崎エンジニアリングシステム株式会社にお問い合わせください。

### 11. 仕様

項目	仕様
型番(商品名)	YF-550(都市ガス警報器)
対象ガス	都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス用)
警報ガス濃度	爆発下限界温度の1/4以下
検知方式	接触燃焼式
警報方式	ランプ・ブザー音(自動復帰式)約25秒後に警報音「ピッピッピッ」の繰り返し
応答時間	60秒以内
外部出力信号	有電圧出力2段階有電圧2線式監視時DC6V 警報時DC12V電源OFF時・故障時0V
警報音量	70dB/m以上
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	監視時 約0.9W(エコマーク商品) 警報時 約1.3W
付属機能	通電初期警報防止機能 点検モード機能 故障診断機能 鳴り止めタイミングお知らせ機能 有効期限お知らせ機能
使用温度範囲	10℃～+50℃(結露しないこと)
寸法・質量	高さ117×幅74×奥行43(mm) 約260(g)

#### 注意

- この警報器は都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス用)専用の警報器です。
- 都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス用)供給区域外ではお使いにならないでください。

### 12. 取付位置(取付位置の設定はお客様自身で行ってください)

#### 警告

取付けは、ガス事業者が行いますので、ご自分で取付けや移動は行なわないでください。

#### 注意

- 都市ガスを検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に設置してください。
- 都市ガスが滞留しやすい位置で、ランプの確認しやすい位置、容易に点検できる場所へ取付けてください。
- 都市ガスを検知しようとするガス機器(一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合は、ガス栓)から水平距離8m以内、天井面から30cm以内にとってください。
- 天井面に接近して取付けると、天井面が黒ずむ場合がありますので、警報器の底面から天井面までの距離が20cm以上～30cm以内になるように取付けてください。
- アルコールなどで警報することがありますのでレンジフード内やレンジフード本体には取付けてください。
- 換気口などの空気の吹き出し口から1.5m以内には取付けてください。

#### 取付例

#### 注意

- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しのよいところ、すきま風の入るところ
- 30cm以上のたれ壁で区切られているところ
- エアコンなどの吹き出し口の近く

#### 禁止

- 警報が遅れたり検知できないことがあります。

### 13. 取付方法

#### 《お願い》

- 付属品の確認 部品イラストや図などを参照して、付属品名、個数、用途などを確認してください。
- 取付位置の確認 取付位置の壁面の材質、強度を確認し、土壁、強度の弱い合板などには取付けしないでください。

●付属品	●別売品
●コード振れ止め(3コ)	●取付板(1コ) ・木ネジ(2コ) (取付板固定用)
●木ネジ(3コ) (コード振れ止め用)	●ボックス(3コ) (コード振れ止め用)
●コネクタ(1コ)	●コネクタ(外部機器との接続用)

#### 取付方法

- 既築家屋の場合
  - 取付位置を確認してください。(壁面の材質、強度およびAC100Vのコンセント位置)
  - 取付板を木ネジ(長さ16mm)で壁面に固定します。
  - 電源コードをコンセントまでの長さにあわせて取付けます。(長さ2.5m)
  - コードをフックに引っ掛けて固定します。
  - 警報器裏面の取付板引掛穴に引っ掛けて取付けます。
  - 電源コードを付属のコード振れ止め処理してください。(市販のステップルや釘は使用しないでください。)
- 更新取付など図のような従来の取付板に取付ける場合 警報器裏面の引っ掛け部を、取付板に引っ掛けて、取付板の凸部を警報器の位置決め穴に合うように取付けます。

#### 《お願い》

- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙及び調理用アルコール蒸気が直接かかると
- カーテンウォールなどで仕切られるところ
- 浴室内や水のかかる場所や水滴のつくところ
- 屋外用ではありません。

#### 注意

- 警報が遅れます。
- センサ故障の原因になります。
- 感電や電氣的故障の原因になります。

#### 注意

- 長時間加熱すると、ガス採取器が破損することがありますのでご注意ください。
- 炎から出した直後の採取管は、先端が非常に熱くなっています。絶対に触らないでください。

#### 注意

- 長時間加熱すると、ガス採取器が破損することがありますのでご注意ください。
- 炎から出した直後の採取管は、先端が非常に熱くなっています。絶対に触らないでください。
- ガス採取器の外部出力(信号端子)は有電圧出力ですので、外部機器と連動する場合、誤配線・誤結線に注意してください。
- 定期点検の説明と必ず実施いただくことをお願いします。

### 14. 外部機器との接続

#### 注意

- 天井近くの回線などに取付ける場合は、取付板の上端2ヶ所の穴を木ネジで固定してください。
- 壁面がコンクリートの場合には、振動ドリルでドリリングのラネカールプラグ(市販品)を打ち込んで、付属の木ネジ(長さ16mm)で取付板を固定してください。
- 更新取付など図のような従来の取付板に取付ける場合 警報器裏面の引っ掛け部を、取付板に引っ掛けて、取付板の凸部を警報器の位置決め穴に合うように取付けます。

#### 注意

- 配線方法 (1)電気設備技術基準及び内線規程により電源コードは、ステップルや釘などで固定しないでください。(2)電線の上に重いものを置かないでください。

#### ①警報器の正面下部の端子カバーをはずしてください。

#### ②下ケースの切欠き部をニッパーやラジオペンチなどで切り欠いてください。

#### ③端子カバー内側の端子表示を参照して信号線をプラスドライバーを使用して結線してください。付属のコネクタを使用する場合は下図のように白色(+)極、灰色(-)極としてください。

#### ④結線が終了したら、信号線を切欠き部より取出し端子カバーを付けてください。

#### 警告

信号線を端子カバーではさまない様に注意してください。

接続できる機器	仕様
戸外ブザー	YP-514
集中監視盤	AAPO18

※有電圧出力信号は、接続機器(集中監視盤など)の負荷の抵抗値が1.2kΩ～50kΩである事が接続の際の必要条件です。点検は、この間に実施してください。電源を入れてから40秒後にランプが点滅から点灯に変わった後に点検ガスを注入してください。

#### 注意

- 信号線の接続は確実に行ってください。
- 信号端子には極性がありますので注意してください。
- 有電圧出力信号(+)(-)が逆に接続されている場合、もしくは接続機器の負荷抵抗値が適正でない場合は電源投入時ランプが早く点滅し、1分毎に「ピッピッピッ」と警報ブザーが鳴ります。接続状態、接続機器仕様を確認してください。
- 外部機器の取付けには専門知識が必要ですのでガス事業者にお任せください。
- FG線は大地接地しないでください。(電力会社の保安点検に合格しないことがあります。)
- FG線は雷のノイズから機器を守るためのものです。ご使用する場合は、接続機器の取扱説明書及び取付説明書をご覧ください。
- 信号線を使用する場合は、弊社BORG(ヴォルグ)ケーブルをご利用ください。
- 信号線の延長距離は900mまで可能です。0.8mm以上の単線または0.5mm<sup>2</sup>以上のより線を使用した場合、1500mまで可能です。
- マイコンガスメーターに直接接続しないでください。メーターが故障します。

### 15. 作動点検

#### 《お願い》

- 都市ガス警報の作動点検時には、ガス採取器(別売品)とガスコンロなど検知対象ガスの炎からガスを採取できるものを用意してください。
- 従来のアルコールを主成分とした点検ガス及びライター式の点検ガスは使用しないでください。センサ異常または鳴り止め期間が長くなる可能性があります。

#### 点検モード機能

電源を入れ、約40秒間の通電初期警報防止機能終了から3分間を点検モードとし、ガス警報遅延時間25秒を無くして、より点検しやすくしています。点検は、この間に実施してください。電源を入れてから40秒後にランプが点滅から点灯に変わった後に点検ガスを注入してください。

#### 点検方法

電源ON → 5秒 → ランプ点灯 → 35秒 → ランプ点滅 → 3分 → 点検モード

#### 《点検のしかた》

- 次の手順で点検してください。
- ガス採取器の先端を警報器の点検口にしっかりと押し当て、容器を1回圧縮し、採取したガスをゆっくり(約3秒程度)注入します。
- ガスを検知するとランプが点滅し外部出力電圧(12V)が出力され、約2秒後(注1)にガス警報音「ピッピッピッ」が鳴ります。(ガス警報) 注1 点検モード以外では、約25秒となります。
- ガスが無くなってくると、ランプは点滅から点灯になり、ガス警報音が鳴りやみます。

#### 警告

採取したガスは警報器の点検以外には使用しないでください。

#### 注意

- 長時間加熱すると、ガス採取器が破損することがありますのでご注意ください。
- 炎から出した直後の採取管は、先端が非常に熱くなっています。絶対に触らないでください。

#### 《点検のしかた》

- 次の手順で点検してください。
- ガス採取器の先端を警報器の点検口にしっかりと押し当て、容器を1回圧縮し、採取したガスをゆっくり(約3秒程度)注入します。
- ガスを検知するとランプが点滅し外部出力電圧(12V)が出力され、約2秒後(注1)にガス警報音「ピッピッピッ」が鳴ります。(ガス警報) 注1 点検モード以外では、約25秒となります。
- ガスが無くなってくると、ランプは点滅から点灯になり、ガス警報音が鳴りやみます。

### 16. お客さまへの説明について

#### 外部機器と連動した場合の注意点及び点検方法

- 外部機器と連動した場合は、外部機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書(取付説明書)に基づいて作動点検を実施してください。
- ガス警報器の外部出力(信号端子)は有電圧出力ですので、外部機器と連動する場合、誤配線・誤結線に注意してください。

#### お客さまへの説明事項

- お客さまに次の事項をご説明のうえ、ご理解を得てください。
- ①保証期間5年。
- ②警報器の有効期限をお知らせする。(本体に貼付の有効期限シールに表示)
- ③保証書を必ず読んで内容を理解した上で取扱っていただきます。
- ④警報器の移設禁止。(移設依頼時の連絡先)
- ⑤警報器の分解禁止。
- ⑥引越時の処置。
- ⑦故障・異常時の連絡先。